

		生育状況等
茨城	(水戸市) 5月1日に移植した「あきたこまち」の生育は平年より2日遅く、「コシヒカリ」は平年より4日進んでいる。平年より草丈は長い。穂長、葉数は少なく、葉色はやや濃い。 (鉈ヶ崎市) 4月28日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」の生育は5日早い。平年に比べ、両品種の草丈は極めて長く、葉数は並、葉色は濃い。 5月7日に移植した「あきたこまち」の生育は5日早く、「コシヒカリ」は6日進んでいる。両品種の草丈は極めて長く、葉数は「あきたこまち」でやや少なく、「コシヒカリ」で並。葉色は両品種とも並。(6月18日現在) (茨城県総合センター農業研究所)	・県内の広範囲で葉いもちの増加が予測されている。(茨城県病害虫防除所 7月10日公表) ・7月のいもち病の発生量は平年並～やや多く、発生は県下全域の予想 ・斑点米カメムシ類の発生時期はやや早く、発生量はやや多く県下全域の予想 (茨城県病害虫防除所 7月10日公表) ・イネ結実病の発生は、関東の一部地域で「多い」と予想 ・ニコメイガの発生は、北関東の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・6月末のイネ科雑草の取り調査結果では、アカスジカスミカメの発生が目立っている。(栃木県農業環境指導センター 7月1日公表) ・6月下旬～7月下旬のいもち病発生量：やや少ない、結実病(ヒメビウンカ媒介)の発生量は県中地域で多い予想。 (栃木県農業環境指導センター 6月20日公表)
栃木	(生育) 平年より葉数が多く草丈も長い。 ・県内全域に高温、多湿傾向であったことから、葉色はほぼ平年並であるが、草丈、葉数ともに前調査(5月26日)より平年との差が大きくなり、生育は平年より進んでいる。葉数から判断して、生育は2日程度進んでいると考えられる。(栃木県農政部 6月11日付)	・イネ結実病の発生は、関東の一部地域で「多い」と予想 ・ニコメイガの発生は、北関東の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・6月末のイネ科雑草の取り調査結果では、アカスジカスミカメの発生が目立っている。(栃木県農業環境指導センター 7月1日公表) ・6月下旬～7月下旬のいもち病発生量：やや少ない、結実病(ヒメビウンカ媒介)の発生量は県中地域で多い予想。 (栃木県農業環境指導センター 6月20日公表)
埼玉	(生育) ・早期、早稲栽培の生育は、6月上旬の真夏日により一時停滯気味であったが、その後回復し、草丈、葉数は概ね平年並みで、高温により幼穂分化はやや進んでいる。早稲栽培の早干し、米類の収穫に合わせた。今後の生育は概ね順調に推移すると考えられるが、向こう1か月は高温、日照の可能性が高いと見られ、穀類全体の生育は、中干しが定かたらず十分な進捗では、倒伏の発生や倒伏の増加が懸念される。出穂期は平年並みの見込み。草丈は並、葉数はやや多め、葉色はやや濃い。 ・普通栽培は、苗はやや軟弱気味であったが、活着は良好で、初期生育も順調。今後の生育は概ね順調に推移すると考えられるが、早期、早稲栽培同様、中干しが定かたらず十分な進捗では倒伏の発生や倒伏の増加が懸念される。 (埼玉県農林総合センター水田農業研究所 7月6日現在)	・青関東の一部地域では、イネいもち病の発生が「やや多い」、イネ結実病、斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予想。 (農林水産省 7月10日公表) ・結実病と斑点米カメムシ類の発生が多く、いもち病(葉いもち)とツツマグロユコイの発生がやや多い予想。 (埼玉県病害虫防除所 6月30日付) ・斑点米カメムシ類の水田での被害数が平年より多く、斑点米の発生が懸念。 ・イネツトムシの本年の孵化最盛日は7月28日と予想。 (埼玉県病害虫防除所 6月18日作成)
千葉	(生育) 全体的に生育の進みは早く、順調に生育している。幼穂形成期は早生・中生品種は4日程度、晩生品種は4～7日程度早くなった。幼穂形成期の草丈は並～やや高く、葉数はやや多めに推移している。 (千葉県農林水産部 7月2日付)	・南関東の一部地域では、イネいもち病の発生が「やや多い」、イネ結実病、斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予想。 (農林水産省 7月10日公表) ・7月のいもち病は平年並、斑点米カメムシ類はやや多い～多い予想。 ・結実病、二葉結実病、イネツトムシ類はやや多い予想。 (千葉県農林総合センター 7月9日公表) ・イネ結実病の発生は、関東の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表)
新潟	・コシヒカリ 概平均では指標値(理想的な生育値)に比べ、草丈は「並み」、葉数は「多い」、葉色は「やや濃い」状況。地域別には、草丈は上越や佐賀、葉数は新潟、新潟、長岡、十日町で濃い状況。 ・こいぶき 生育は、指標値に比べ草丈は「並み」、葉数は「多い」、葉色は「やや濃い」状況。葉数の進みは「やや早い」状況。 (新潟県農林水産部 6月30日付)	・北陸の一部地域では、イネいもち病、イネ結実病の発生が「やや多い」、斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予想。 ・ニコメイガの発生は「多い」、フタオビコヤガの発生は「やや多い」と予想。 (農林水産省 7月10日公表) ・7月は、稲こうじの被害率が平年並～やや多く、斑点米カメムシ類の発生がやや多い～多い予想。(新潟県病害虫防除所 6月21日公表)
	(生育) (新潟) 7月上旬はやや高めの気温で推移したが、草丈はほぼ指標値並、早生品種の幼穂形成期が平年並3日程度早い。 (新潟県農業技術センター 7月10日現在) (新潟) コシヒカリの生育は、3～4日程度進んでいることから、指標値と同様の葉数と比較すると、生育量は草丈は並、葉数は多く、葉色は急激に低下してきている。(新潟県農業改良普及センター 6月30日付) (新潟) 出穂期は平年並みの見込み。コシヒカリの生育状況は、草丈は並、葉数はやや多、葉数は並、葉色はやや濃い。 ・初期の強剪定から、出穂期は早生並の見込み。 (新潟県農業改良普及センター 7月10日現在) (新潟) 調査は播種後の生育は、指標値対比、草丈：並、葉数：並、葉数：やや早い、葉色：濃い。コシヒカリの出穂期は平年より2日程度早い見込み。(新潟県農業改良普及センター 6月30日現在) (佐賀) 草丈：「並～やや短」、葉数：「並～3日程度早い」、葉数：「やや多」、葉色：「並～やや淡」。コシヒカリは、草丈「並～やや短」、葉色「並～やや淡」傾向。出穂期は、2日程度早まる予想。(巻葉普及指導センター 6月30日現在) (佐賀) 幼穂形成期の理想的な姿に近い生育量になり、第1回目の穂肥ができる稲姿になった。出穂期は1日程度早まる見込み。コシヒカリの出穂期は3日早い予想。 (佐賀県農業改良普及センター 7月10日現在) (長岡) 生育が進み葉数が0.8程度多く、早生・中生とも3日程度早まりコシヒカリでも幼穂形成期を迎えている。 こいぶき(長岡市緑ヶ丘5/11 緑ヶ丘)の出穂期は7月25日と予想。草丈はやや高く、葉数はやや多い、葉色(SPAD値)は並、コシヒカリの出穂期は5月10日過ぎと8月2日と予想。定稔率確保の生育は、指標値に比べ、草丈は並、葉数はやや多、葉色はやや濃い。 (長岡県農業技術センター 7月10日現在) (新潟) 移植後の好天により、生育は順調に推移しており、出穂は平年並み～1日程度早い見込み。 (山北魚沼、魚沼農業普及指導センター 7月2日付) (新潟) コシヒカリの生育は、指標値に比べ草丈は「やや短」、葉数は「多」、葉数は「並」、葉色は「やや淡」 (新潟県農業普及指導センター 6月30日現在) (十日町) 生育は、早稲部、台地、高標高地とも順調な生育。 早稲部は草丈はやや短く、葉数と葉数は並、葉色はやや濃い～濃い。台地、高標高地では、草丈は短く、葉数はやや多い、葉数は並、葉色は「並」程度。一部早稲部も生育が遅れている場所がみられる。 (十日町農業普及指導センター他 6月30日付) (相模) こいぶきの生育は、草丈・葉数・葉色とも指標値並だが、葉数はやや多めで、コシヒカリの生育は、草丈は短く、葉数はやや多く、葉数・葉色は指標値並。(相模県農業普及指導センター 6月30日現在) (上越) 草丈：並(102%)、葉数：多い(131%)、葉数：やや多い(+0.5葉)、葉色：並(葉色値+0.3) コシヒカリの出穂は平年より2～3日早いと見込まれる。5月10～15日頃の出穂では8月4日頃が出穂期と予想。 (上越県農業普及指導センター 7月10日現在) (糸魚川) 平年に比較すると、生育が早まる傾向によりバラついている。(糸魚川農業普及指導センター 6月19日現在) (佐渡) コシヒカリの生育は平年並。草丈は並、葉数はやや多い、生育は並、葉色は並。(佐渡県農業普及指導センター 6月30日現在)	
富山	(生育) (コシヒカリ) 草丈と葉数、葉色は平年並み、葉数はやや多い、m当たり葉数は、前調査時(7月1日)より約28本減少した。葉色の低下は、前調査時より約0.1ポイントと緩やかに進んでいる。生育量(草丈×m葉数×葉色×1000)の平均値は、137と概ね平年並みであるが、118から177とバラツキが大きくなっている。幼穂形成期は、平年より1日程度早まり7月1日頃、出穂期は平年並みの0.8日4日頃と見込まれる。 (てんこもり) 草丈と葉数、葉色は平年並み、葉数は多い、幼穂形成期と出穂期は、それぞれ平年並みの7月17日頃、8月9日頃と見込まれる。 (てんたか) 5月5日移植の出穂期は7月20日頃になると見込まれる。 (富山県農業技術センター 広域普及指導センター 7月9日現在)	・北陸の一部地域では、イネいもち病、イネ結実病の発生が「やや多い」、斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予想。 ・ニコメイガの発生は「多い」、フタオビコヤガの発生は「やや多い」と予想。 (農林水産省 7月10日公表) ・7月の結実病の発生はやや多く、斑点米カメムシ類は多い予想 ・イナゴ類がやや多い予想(富山県農林水産総合技術センター 7月1日公表) ・水田及び畑地における斑点米カメムシ類の生息数も多く、斑米被害の増加が懸念される(富山県農林水産総合技術センター 6月26日付)
石川	(生育) ・出穂期は早生で近年に比べ3～5日、コシヒカリで早年に比べ2日早いと予想される。 ・ゆめみづほ 加算 7月14日～19日(近年より3～5日早い) ・能登みづほ 加算 7月18日～22日(近年より5日程度早い) ・能登みづほ 加算 7月22日(平年より4日早い) ・コシヒカリ 加算 7月25日～8月2日(平年より2日早い) ・能登 7月30日～8月3日(平年より2日早い) ・草丈は、コシヒカリは平年比100%と平年並、ゆめみづほは近年比103%と近年並。 ・葉数は、コシヒカリは近年比93%(加算地域96%)、能登みづほは近年比93%(加算地域94%)、能登みづほは近年比93%と近年並。 ・葉色は、コシヒカリは平年並に低下している場所が多いが、一部で平年に比べ濃い場所が見られる。 (農林総合センター 7月8日調査)	・北陸の一部地域では、イネいもち病、イネ結実病の発生が「やや多い」、斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予想。 ・ニコメイガの発生は「多い」、フタオビコヤガの発生は「やや多い」と予想。 (農林水産省 7月10日公表) ・7月後半は、穂いもちの発生はやや多、結実病の発生は多、斑点米カメムシ類の発生は多と予想。 (石川県農林総合技術センター 7月9日付) ・7月前半のいもち病、結実病と斑点米カメムシ類の発生量はやや多い予想。 (石川県農林総合技術センター 6月26日付)
福井	(生育) ・コシヒカリは平年より遅く最高分け時期を迎えている。草丈は平年より短いが、葉数は平年を上回っており特に直穂は葉数過剰となっている。 ・ハサエゼンチの草丈は平年よりやや短く、葉数は一部を除き平年並みに回復している。25日頃から幼穂形成期を迎えている。 (水田農業レシアルアップ委員会技術普及部会 7月3日現在)	・北陸の一部地域では、イネいもち病、イネ結実病の発生が「やや多い」、斑点米カメムシ類の発生は「多い」と予想。 ・ニコメイガの発生は「多い」、フタオビコヤガの発生は「やや多い」と予想。 (農林水産省 7月10日公表) ・7月は、ニコメイガ、イネツトムシ、イネアオムシの発生が平年より多いと予想。 ・斑点米カメムシ類の発生が多くなる恐れがあるとの注意報。 (福井県農業技術センター 7月1日付)
長野	(生育) ・資料では草丈は平年より長く、葉数は多い傾向。最高分け時期で、軟弱の見えないような葉数過剰の圃場も見られる。生育は、平年より2～3日早いと推定している。 ・資料のあきたこまちは、7月4日に幼穂形成期に入り、平年より3日早く、昨年より2日遅い。奥山嶺は7月6～7日頃と思われる。 ・向こう1ヶ月の気温は平年並み～多いと予想されており、早生種の出穂は平年より早まる事が予想される。 (松本県農業改良普及センター 7月1日現在)	・葉いもち等の発生は平年並み、イナゴの発生がやや多い予想。 (長野県病害虫防除所 6月16日付) ・5月下旬イネカメムシ類の被害率及び寄生虫数は平年より少なかった。また佐久地域の 一部でイネドクサの成虫を確認 (長野県病害虫防除所 6月2日付)

		生育状況等
滋賀	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は、「コンヒカリ」、「秋の詩」とも平年より長かった。 ・葉数は、「コンヒカリ」は平年より多く、「秋の詩」は平年よりかなり多かった。「秋の詩」は平年比127%で、過去10年で最も多くなっている。 ・葉数は、「コンヒカリ」は平年より0.5枚多く、「秋の詩」は平年より0.2枚多かった。 ・葉色は、「コンヒカリ」、「秋の詩」とも平年並。 ・「コンヒカリ」の幼穂形成期は、平年より1.1日、7月4日に幼穂長1㎝が確認され、平年(7月5日)より1日早く幼穂形成期を迎えている。ただし、気温の変動が大きく、穂結時期により生育の進捗は異なっている。 ・「秋の詩」は、最も分けつ期を迎えているが、平年に比べ、生育は遅滞。 ・「みずかみ」、「新島種」は、4月下旬から5月上旬移植では、出穂期のピークは7月20日前後になる見込み。5月中旬移植では、7月1日～7日に幼穂形成期を迎えており、出穂期のピークは7月26日前後になる見込み。(滋賀県農業技術センター 6月30日現在)
兵庫	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・(東北)葉齢、葉数ともに平年を上回っている。特に葉数はかなり多くなっている。 ・(東南)葉齢は平年を上回っている。葉数は平年並み～やや少ない。(兵庫県環境部長 7月3日付)
岡山		<ul style="list-style-type: none"> ・中国の一部地域では、イネいもち病、イネ縞葉枯病の発生が「やや多い」と予報。ヒメトビウカの発生も「やや多い」と予報。(農林水産省 7月10日公表) ・7月の寒いもち、種いもち、紋枯病、縞葉枯病、ニカメイガ、トビロウカ、斑点米カメムシ類の発生量は、並の予報。ヒメトビウカ、ツマグロヨコバイの発生量はやや少。セジロウカは少の予報。(岡山県病害虫防除所 7月2日公表)
広島		<ul style="list-style-type: none"> ・中国の一部地域では、イネいもち病、イネ縞葉枯病の発生が「やや多い」と予報。ヒメトビウカの発生も「やや多い」と予報。(農林水産省 7月10日公表) ・県内の一部地域で置き苗に寒いもちの発生が確認されている。いもち病が発生しやすい条件となっている。県南部と県中部において、いもち病感染好適日が過去10年間で最も高い頻度で出現(広島県西部農業技術指導所 6月27日公表)
山口	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> 6月の降水量及び日照時間は平年より少ない状況で、気温は平年並みに推移した。 ・コンヒカリ、ひとめぼれの生育は、5月中旬移植の葉数は多いが、草丈と葉齢は概ね平年並み ・きむすめの生育は、草丈が短く、葉数と葉齢は平年並み ・ヒノヒカリの生育は、草丈が短く、葉数は少なく、葉齢はやや遅い (JA長門大津、長門農林事務所 7月1日現在)
愛媛	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培のあきたこまちらは6月下旬、コンヒカリは7月上旬、短期栽培のあきたこまちは7月中下旬頃が穂肥時期となる。穂肥の施用時期は、幼穂長の観察による生育診断等の適期予測が重要。(愛媛県農林水産部/農林水産研究所 7月4日公表)
高知	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・早期種は、天候に恵まれ、全般に生育は順調である。極早生の南国そだちは出穂期を迎えている。 ・普通期種は、一部地域では苗の供給遅れが生じたが、昨年のような水不足による移植の遅れもなく、移植後の生育は良好である。(高知県病害虫防除所 7月4日付) (南国そだち 4月4日移植) 5月30日調査時の草丈は平年よりやや高く、葉数はほぼ平年並、葉齢(生育進度)は平年よりやや早い。 (早稲こんヒカリ 4月4日移植) 5月30日調査時の草丈は平年並み、葉数は少なく、葉齢もわずかに遅れている。葉数が少ないのは、移植直後4月上旬および5月上旬の低温の影響によるもの。 (標準種こんヒカリ 4月14日移植) 低温の影響で一時的に生育は遅れていたが、その後回復し6月3日調査時の草丈は平年より高く、葉数、葉齢は平年並みに推移。(高知県農業技術センター 6月20日付)
福岡	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州の一部地域では、イネいもち病、イネ縞葉枯病の発生が「やや多い」と予報。斑点米カメムシ類の発生も「やや多い」と予報。 ・九州の一部地域では、トビロウカの初飛来が確認されている。(農林水産省 7月10日公表) ・7月のセジロウカの発生量は平年より少で前年並み。トビロウカの発生量は平年並で前年より少。(福岡県病害虫防除所 7月3日公表)
熊本		<ul style="list-style-type: none"> ・南九州の一部地域では、ヒメトビウカの発生が「やや多い」と予報。 ・九州の一部地域では、トビロウカの初飛来が確認されている。(農林水産省 7月10日公表) ・7月の発生量予報(早期水稲) 種いもち病、カメムシ類はやや少(早稲水稲) 寒いもち病は平年並(普通水稲) 寒いもち病は平年並(早稲普通水稲) セジロウカはやや少(熊本県病害虫防除所 6月27日公表)
宮崎	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> 現在の生育状況は、草丈が平年よりやや短く、葉数は平年並み、葉齢は平年並みで、生育進度は平年並みに順調に生育している。現在、幼穂形成期～穂ばらみ期を迎えている。出穂期は早いところで6月23日頃、遅いところでも7月上旬頃とほぼ平年並みの進度で生育している。 早期水稲 6月15日現在の生育ステージ(県全体) 幼穂形成期～穂ばらみ期で平年並みの進度。草丈はやや低く、葉数は平年並みと生育は概ね良好であり、順調に生育している。 (中部地区) 幼穂形成期～穂ばらみ期で平年並みの進度。草丈は平年より6cm程短く、葉数・葉齢は平年並み。出穂最盛期は6月27日頃と見込まれる。 (南部阿地区) 穂ばらみ期で平年より3日早い進度。生育は順調で予想出穂期は6月23日頃と見込まれる。(児湯地区) 幼穂形成期で平年並みの進度。6月上旬から穂肥の施用が行われ、薄かった葉色が回復し、分けつも多く、生育は順調。 (東臼杵地区) 幼穂形成期で平年より2日遅い進度。生育は良好であり、平年より草丈は低く、葉数は平年並み。幼穂長は平均0.9cmとなっており、7月上旬出穂であると思われる。(JA宮崎経済連ホームページ 6月15日現在)
鹿児島		<ul style="list-style-type: none"> ・南九州の一部地域では、ヒメトビウカの発生が「やや多い」と予報。 ・九州の一部地域では、トビロウカの初飛来が確認されている。(農林水産省 7月10日公表) ・7月の発生量予報(早期水稲) 種いもち病はやや多。紋枯病、斑点米カメムシ類は平年並の予報(普通水稲) 寒いもち病はやや多の予報(鹿児島県病害虫防除所 7月1日公表)

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考				
		生産数量目標			収穫量(主食用) 25年度	作況指数 25年度
		平成26年度	前年度との比較	増減率		
全 国	<ul style="list-style-type: none"> 夏にエルニーニョ現象が発生する可能性はこれまでの予測より低くなった。秋に発生する可能性が高い。（気象庁 7月10日発表） (7~9月の3か月間の見直し) 偏西風は、8月までは平年の位置で強く、前線や低気圧の活動が活発となる見込みで、降水量は北日本で平年並が多い見込み。 7月の東・西日本では、降水量が平年並か多く、8月の西日本では、平年並か高い見込み。 9月は、太平洋高気圧の日本付近への張り出しが弱く西日本では、気温が平年並か低い見込み。 					
北 海 道	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の7月12日～8月11日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 1週目は気温が高く、2週目は平年並か低くなり、期間の前半は気温の変化が大い見込み。 気圧の谷の影響で、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。 (札幌管区気象台 7月10日発表) 	554,140	▲ 18,800	▲ 3.3	601,300	105
青 森	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方の7月12日～8月11日の1か月間は、平均気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 期間のはじめは気温がかなり高くなる見込み。前線や気圧の谷の影響で、期間の中頃は平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温の低い日がある見込み。 (仙台管区気象台 7月10日発表) 	247,000	▲ 12,220	▲ 4.7	272,100	104
岩 手	同上（仙台管区気象台 7月10日発表）	275,540	▲ 10,810	▲ 3.8	287,800	102
宮 城	同上（仙台管区気象台 7月10日発表）	362,630	▲ 18,140	▲ 4.8	388,600	104
秋 田	同上（仙台管区気象台 7月10日発表）	433,040	▲ 13,390	▲ 3.0	450,200	100
山 形	同上（仙台管区気象台 7月10日発表）	358,570	▲ 15,630	▲ 4.2	386,100	102
福 島	同上（仙台管区気象台 7月10日発表）	348,420	▲ 7,440	▲ 2.1	368,600	104
茨 城	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方の7月12日～8月11日の1か月間は、平均気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 期間のはじめは気温がかなり高くなる見込み。前線や気圧の谷の影響で、1週目は曇りや雨の日が多いが、3~4週目には太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 (気象庁 7月10日発表) 	341,550	▲ 7,340	▲ 2.1	398,900	104
栃 木	同上（気象庁 7月10日発表）	309,330	▲ 12,220	▲ 3.8	334,900	102
埼 玉	同上（気象庁 7月10日発表）	152,680	▲ 3,920	▲ 2.5	165,900	98
千 葉	同上（気象庁 7月10日発表）	249,280	▲ 6,420	▲ 2.5	329,100	104
新 潟	<ul style="list-style-type: none"> 北陸地方の7月12日～8月11日の1か月間は、平均気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 期間の前半は前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。1週目の気温は、南からの暖かい空気の影響により平年より高くなり、3~4週目には太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 (新潟地方気象台 7月10日発表) 	535,640	▲ 10,030	▲ 1.8	594,400	103
富 山	同上（新潟地方気象台 7月10日発表）	192,340	▲ 3,920	▲ 2.0	198,200	102
石 川	同上（新潟地方気象台 7月10日発表）	126,400	▲ 3,000	▲ 2.3	130,500	101
福 井	同上（新潟地方気象台 7月10日発表）	128,130	▲ 5,230	▲ 3.9	134,700	102
長 野	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方の7月12日～8月11日の1か月間は、平均気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 期間のはじめは気温がかなり高くなる見込み。前線や気圧の谷の影響で、1週目は曇りや雨の日が多いが、3~4週目には太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 (気象庁 7月10日発表) 	196,640	▲ 7,760	▲ 3.8	213,000	101

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	%	t		
滋賀	・近畿地方の7月12日～8月11日の1か月間は、平均気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 期間の前半は梅雨前線や湿った気流の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。期間の後半は太平洋高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （大阪管区気象台 7月10日発表）	163,380	▲ 7,000	▲ 4.1	169,300	102
兵庫	同上（大阪管区気象台 7月10日発表）	181,930	▲ 6,010	▲ 3.2	189,800	100
岡山	・中国地方の7月12日～8月11日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 期間の前半は、前線や南からの湿った気流の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。期間の後半は、太平洋高気圧に覆われやすく、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （広島地方気象台 7月10日発表）	160,190	▲ 5,850	▲ 3.5	163,800	97
広島	同上（広島地方気象台 7月10日発表）	130,130	▲ 4,270	▲ 3.2	132,600	99
山口	・九州北部地方（山口県含む）の7月12日～8月11日の1か月間は、平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 期間の前半は、前線や南からの湿った気流の影響で、平年に比べ曇りや雨の日が多く、期間の後半は、太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （福岡管区気象台 7月3日発表）	110,820	▲ 5,530	▲ 4.8	111,000	97
愛媛	・四国地方の7月12日～8月11日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 期間の前半は、前線や南からの湿った気流の影響で、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。期間の後半は、太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （高松地方気象台 7月10日発表）	74,490	▲ 1,690	▲ 2.2	74,900	99
高知	同上（高松地方気象台 7月10日発表）	50,050	▲ 1,700	▲ 3.3	57,900	98
福岡	・九州北部地方（山口県含む）の7月12日～8月11日の1か月間は、平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 期間の前半は、前線や南からの湿った気流の影響で、平年に比べ曇りや雨の日が多く、期間の後半は、太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （福岡管区気象台 7月3日発表）	184,380	▲ 6,860	▲ 3.6	182,500	96
熊本	同上（福岡管区気象台 7月10日発表）	189,920	▲ 7,790	▲ 3.9	188,300	97
宮崎	・九州南部地方の7月12日～8月11日の1か月間は、平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 期間の前半は、南からの湿った気流の影響で、平年に比べ晴れの日が少ない見込み。期間の後半は、太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （鹿児島地方気象台 7月11日発表）	94,470	▲ 4,660	▲ 4.7	92,600	100
鹿児島	同上（鹿児島地方気象台 7月10日発表）	111,540	▲ 3,980	▲ 3.4	112,500	101

参考資料:

[平成26年産米の都道府県別の生産数量目標について\(農林水産省\)](#)

[平成25年産水陸稲の収穫量\(農林水産省\)](#)

[「平成26年度 病害虫発生予報第4号」の発表について\(農林水産省 7月10日\)](#)

[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道 7月4日\)、農作物生育状況 7月1日現在\(北海道空知総合振興局 7月4日\)、](#)
[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道石狩振興局 7月4日\)、農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道後志総合振興局 7月4日\)、](#)
[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道胆振総合振興局 7月4日\)、農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道日高振興局 7月4日\)、](#)
[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道渡島総合振興局 7月4日\)、農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道檜山振興局 7月4日\)、](#)
[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道上川総合振興局 7月4日\)、農作物生育状況調査の概要 7月1日現在\(北海道留萌振興局 7月4日\)](#)
[農作物の生育と農作業の進捗状況 7月1日現在\(北海道オホーツク総合振興局 7月4日\)、病害虫発生予察情報第8号7月予報・第9号\(北海道病害虫防除所\)、](#)
[作況調査報告6月30日現在\(青森県産業技術センター 農林総合研究所 7月2日\)、平成26年度病害虫発生予報第4号7月予報\(青森県病害虫防除所\)、](#)
[平成26年度水稲病害虫防除指導情報第1号\(青森県病害虫防除所 7月11日\)、](#)
[農作物技術情報第4号水稲\(岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部、中央農業改良普及センター 県域普及グループ 6月26日\)](#)
[平成26年度水稲生育定定期調査結果No.4\(7月4日\)\(岩手県農業研究センター 技術部作物研究所・県北農業研究所作物研究室 7月7日\)、](#)
[平成26年度病害虫発生予察情報第4号\(岩手県病害虫防除所\)、平成26年度病害虫防除速報No.4 水稲編-2\(岩手県病害虫防除所\)、](#)
[平成26年産水稲の生育状況について 7月1日現在\(宮城県農林水産部 7月2日\)、平成26年度産稲作技術情報\(第4号\)\(宮城県大河原農業改良普及センター 7月4日\)、](#)
[平成26年度産稲作情報\(第4号\)\(宮城県亘理農業改良普及センター 7月7日\)、仙台稲作情報第7号\(宮城県仙台農業改良普及センター 7月2日\)、](#)
[平成26年度産稲作技術情報第6号\(宮城県大崎農業改良普及センター 7月1日\)、平成26年産美里地区の稲作情報第5号\(宮城県美里農業改良普及センター 7月2日\)、](#)
[栗原の稲作通信平成26年第4号\(宮城県栗原農業改良普及センター 宮城県米づくり推進栗原地方本部 7月4日\)、](#)
[登米地域の稲作通信第6号\(宮城県登米農業改良普及センター 7月11日\)、稲作情報Vol.4\(石巻農業改良普及センター 7月3日\)、](#)
[稲作情報Vol.4\(本吉農業改良普及センター 7月1日\)、平成26年度発生予察情報発生予報第6号\(概要版\)\(宮城県病害虫防除所\)、](#)
[平成26年度発生予察情報発生予報情報注意報第1号\(宮城県病害虫防除所 7月4日\)、](#)
[生育状況の情報\(秋田県ホームページ\)「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 7月7日\)、](#)
[平成26年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第3号\(7月予報\)\(秋田県病害虫防除所\)、](#)
[平成26年度農作物病害虫発生予察情報注意報第2号\(秋田県病害虫防除所 平成26年7月10日\)、](#)
[米づくり技術情報No4\(山形の米 日本一推進運動本部 6月30日\)、つや姫だより第5号\(市内総合支庁 7月3日\)、稲作だより第6号肥肥編\(村山総合支庁 7月1日\)、](#)
[つや姫だより第6号\(山形県村山総合支庁 7月1日\)、おきたまづくり情報No.8\(山形の米 日本一推進運動置賜地域本部 7月4日\)、](#)
[おきたま「つや姫だより」\(山形の米 日本一推進運動置賜地域本部 7月4日\)、稲作だより第9号穂肥編\(最上総合支庁 7月7日\)、](#)
[つや姫情報第4号\(最上総合支庁 7月7日\)、おいしい米づくり情報第8号\(市内総合支庁 7月2日\)、直播稲作情報第4号\(市内総合支庁 7月3日\)](#)
[酒田・飽海米づくり情報第7報\(酒田農業技術普及課 7月9日\)、酒田・飽海つや姫情報第6号\(市内総合支庁 7月9日\)、](#)
[平成26年度農作物有害動植物発生予察情報発生予報第4号\(7月\)\(山形県病害虫防除所\)、](#)
[平成26年度農作物有害動植物発生予察情報注意報第1号\(山形県病害虫防除所 7月2日\)、平成26年度病害虫発生予察情報発生予報第3号\(6月\)\(福島県病害虫防除所\)、](#)
[主要な農作物の生育状況平成26年度第3号\(福島県農林水産部 6月9日\)、水稲の病害虫防除対策\(6月\)\(福島県病害虫防除所\)、](#)
[農研速報\(水稲の生育状況\)\(6月20日現在、水戸市\)\(茨城県農業総合センター 農業研究所作物研究室 6月20日\)、](#)
[農研速報\(水稲の生育状況\)\(6月18日現在、龍ヶ崎市\)\(茨城県農業総合センター 農業研究所作物研究室 6月19日\)、](#)
[病害虫速報No.3・No.4\(茨城県病害虫防除所\)、病害虫発生予報7号\(茨城県病害虫防除所・茨城県植物防疫協会\)、](#)
[那珂川治水対策支部の解散について\(国土交通省関東地方整備局\)、](#)
[平成26年度水稲生育診断予測事業速報No.2\(早期栽培6月9日調査結果\)\(栃木県農政部 6月11日\)、](#)
[平成26年度病害虫発生予報第3号\(栃木県農業環境指導センター\)、平成26年度病害虫発生予察注意報第1号\(栃木県農業環境指導センター\)、](#)
[平成26年度水稲の生育概況Vol.2\(平成26年7月6日現在\)\(埼玉県農林総合研究センター 水田農業研究所\)、](#)
[平成26年度病害虫発生予報第3号\(7月予報\)\(埼玉県病害虫防除所\)、病害虫:調査データ\(埼玉県病害虫防除所 6月19日\)、](#)
[病害虫防除情報\(埼玉県病害虫防除所 6月11日\)、](#)
[水稲の生育状況と当面の対策第4報\(千葉県農林水産部 7月2日\)、平成26年度病害虫発生予報第4号\(千葉県農林総合研究センター\)、](#)
[水稲の生育状況と今後の管理対策第4号\(新潟県農林水産部 7月2日\)、岩船米生育速報\(7月10日現在\)\(村上農業普及指導センター\)、](#)
[新発田地域水稲育成速報No.4\(6月30日調査\)\(新発田農業普及指導センター\) 6月30日\)、新潟稲作速報No.5\(新潟農業普及指導センター 7月10日\)、](#)
[水稲生育速報No.4\(新潟農業普及指導センター 7月1日\)、水稲生育速報No.4\(巻農業普及指導センター 7月1日\)、](#)
[FAX稲作速報\(三条農業普及指導センター 7月10日\)、稲作方法No.6\(長岡農業普及指導センター 7月10日\)、](#)
[稲作情報\(JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 7月2日\)、稲作情報No.5水稲生育速報\(6月30日現在\)\(南魚沼農業普及指導センター 6月30日\)、](#)
[6/30稲作生育速報\(十日町地域\)\(十日町農業普及指導センター他\)、稲作管理情報4\(柏崎農業普及指導センター 7月1日\)、](#)
[水稲生育速報・コンヒカリ\(上越農業普及指導センター 7月10日\)、水稲生育情報\(糸川川農業普及指導センター 6月20日\)](#)
[平成26年度 稲作生育速報 No4\(佐渡農業普及指導センター 7月1日\)、平成26年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第4号\(7月の発生予想\)\(新潟県病害虫防除所\)、](#)
[TACS情報第7号・\(富山県農業技術課広域普及指導センター 7月9日\)、直播情報第5号\(富山県農業技術課広域普及指導センター 7月9日\)、](#)
[病害虫発生予報第4号\(富山県農林水産総合技術センター 7月1日\)](#)
[平成26年産水稲の生育状況と今後の対策\(水稲生育診断技術確立調査-7号\)\(石川県農林総合研究センター 7月9日\)、病害虫発生予報第3・4号\(石川県\)、](#)
[稲作情報No.9\(稲作情報作成委員会・水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月4日\)、平成26年農作物病害虫発生予察予報第5号\(福井県農業試験場\)、](#)
[平成26年農作物病害虫発生予察注意報第2号\(福井県農業試験場\)](#)
[平成26年度作物技術普及情報第13号\(長野県松本農業改良普及センター 7月4日\)、5月下旬の水稲巡回調査結果の概要について\(長野県病害虫防除所 6月2日\)、](#)
[病害虫発生予報第3号\(向こう1ヶ月間の発生予報\)\(長野県病害虫防除所 6月16日\)](#)
[平成26年度水稲生育診断情報No.3\(滋賀県農業技術振興センター 7月8日\)、平成26年度病害虫発生予報第5号\(滋賀県病害虫防除所\)、](#)
[平成26年度病害虫発生予察予報第2号\(兵庫県病害虫防除所\)、平成26年度兵庫県農業気象技術情報第3号\(7月情報\)について\(兵庫県農政環境部 7月3日\)、](#)
[平成26年度病害虫発生予報第4号\(岡山県\)、稲作ワンポイントアドバイス\(No4\)\(I.A 長門大津・長門農林事務所 7月1日\)、](#)
[農作物病害虫発生予報7月\(山口県病害虫防除所\)、平成26年度農作物病害虫発生予察注意報第2号\(山口県 7月11日\)](#)
[気象情報に基づく技術対策・作物\(平成26年7月\)\(愛媛県 7月4日\)、病害虫発生予報\(6月\)\(愛媛県\)、病害虫発生予報\(7月\)\(愛媛県\)、](#)
[平成26年度水稲生育状況\(6/6時点\)\(高知県農業技術センター 6月20日\)、平成26年度病害虫発生予報第4号7月月報\(高知県病害虫防除所 7月4日\)、](#)
[普及指導センター情報\(福岡県朝倉普及指導センター\)、平成26年度病害虫発生予報第4号7月月報\(福岡県病害虫防除所 7月3日\)、](#)
[管内JAニュース\(JAグループ熊本ホームページ\)http://www.ja-kumamoto.or.jp\)、平成26年度病害虫発生予報第4号\(7月予報\)\(熊本県病害虫防除所\)、](#)
[平成26年産宮崎県早期米産地情報\(平成26年6月15日現在\)\(宮崎経済連ホームページ\)http://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html 7月4日\)、](#)
[平成26年度病害虫発生予報第3号\(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター\)、](#)
[平成26年度病害虫発生予報第4号\(7月\)\(鹿児島県病害虫防除所\)](#)

[エルニーニョ監視速報\(No.262\)\(気象庁 地球環境・海洋部\)](#)

[北海道地方方向こう1か月の天候の見通し\(札幌管区気象台\)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し\(仙台管区気象台\)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し\(気象庁\)、](#)

[北陸地方方向こう1か月の天候の見通し\(新潟地方気象台\)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し\(大阪管区気象台\)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し\(広島地方気象台\)、](#)

[四国地方方向こう1か月の天候の見通し\(高松地方気象台\)、九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し\(福岡管区気象台\)、九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し\(鹿児島地方気象台\)](#)